



団体の基本情報

活動概要	多様なステークホルダー間の協調を促進し、PHRサービス産業の発展を通じて、国民の健康寿命の延伸や豊かで幸福な生活（Well-being）に貢献すること」を目指し、PHRサービス事業に係る業界自主ルールの策定、ステークホルダーとの対話や政策提言などの活動を行う。		
会員企業数	131事業者 (2025年1月時点)	Webページ	https://phr-s.org/

ガイドラインの概要

ガイドライン名	民間事業者のPHRサービスに関わるガイドライン（第3版）
概要	PHRサービス事業協会とPHR普及推進協議会では、PHRの適正な普及推進のため情報交換・情報発信を行い、人々と社会の健康・安全の より一層の向上に寄与することを目指して、わが国におけるPHRの普及推進に向けた活動を進めています。その一環として、PHRサービスガイドライン策定を行っており、このたび本ガイドラインを公表しました。
ガイドラインURL	https://phr-s.org/news/20240628.html

ガイドラインに係る今年度の活動実績

活動実績	消費者の認知や理解を広げる活動 - 外部イベントでの講演、原稿執筆などの実施。大阪万博での出展に向けた企画推進中。 消費者の声を聞き、取組に生かす活動 - ライフログのロングリスト作成。服薬、運動、食事、睡眠カテゴリでのユースケース整理。ポータビリティ実現に必要な論点の整理。 「民間PHR事業者による健診等情報の取扱いに関する基本的指針」改定に対する団体意見集約、提案。 - オンライン ガイドライン説明会（2024年7月23日）にて、多くの参加者のもと、ガイドライン策定の経緯、及び本ガイドラインの説明会を実施。引き続き、ガイドライン（第4版）の2025年6月発出に向け改定中。 - 業界団体活動に関する勉強会を実施し、会員企業の「業界自主ガイドライン策定活動」に対する理解を深める。 評価認証制度の立上を検討する活動 - 評価認証制度の「目的（メリット）」の明確化、必要となる費用／リソースの整理、持続可能な制度にするための施策検討、認知度を高めるための施策検討等を実施。それら内容を踏まえ、評価認証制度の立上を検討中。
------	---

団体の基本情報

活動概要	Personal Health Record（以下「PHR」）の適正な普及推進のため、情報交換・情報発信を行い、社会の健康、安全のより一層の向上に寄与することを目的とする。		
会員企業数	47（昨年：42）	Webページ	https://phr.or.jp/

ガイドラインの概要

ガイドライン名	民間事業者のPHRサービスに関わるガイドライン（第3版）
概要	PHRサービス事業協会とPHR普及推進協議会では、PHRの適正な普及推進のため情報交換・情報発信を行い、人々と社会の健康・安全のより一層の向上に寄与することを目指して、わが国におけるPHRの普及推進に向けた活動を進めています。その一環として、PHRサービスガイドライン策定を行っており、このたび本ガイドラインを公表しました。
ガイドラインURL	https://phr.or.jp/archives/2211

ガイドラインに係る今年度の活動実績

活動実績	消費者の認知や理解を広げる活動 ・ プレスリリース発行（2024年6月28日） 50社ほどのメディアで取り上げられ大きな関心を得られた ・ メディア向けにPHRに関する勉強会を実施（2024年12月11日） ・ モダンホスピタルショウ2024、ITヘルスケア学会・一般公開向けパネルディスカッション等5件の講演(2024年12月末時点) 消費者の声を聞き、取組に生かす活動 ・ オンライン ガイドライン説明会（2024年7月23日） 多くの参加者のもと、ガイドライン策定の経緯、及び本ガイドラインの説明会を実施 ご意見を次年度以降の活動に取り組む ガイドラインに賛同する事業者を広げる活動 ・ 団体説明会、年次フォーラムを通じ、賛助会員・特別会員を募っている ・ 賛助会員・特別会員向けの説明会を実施（2024年8月26日） ・ メディカルDX・ヘルステックフォーラムパネルディスカッション、学会学術集会での講演・シンポジウム4件（2024年12月末時点）
------	--